



川俣小学校「学校だより」 輝くひとみ

令和5年11月28日(火) 第16号

みんなでのびる

☆高め合う子

☆助け合う子

☆きたえ合う子

発行者 校長 小野真教

各種表彰～おめでとうございます～

□福島地区児童作文コンクール

特選 2年 ○○○○

準特選 3年 ○○○○

□歯科衛生図画・ポスター

・書写・標語コンクール

書写 最優秀 3年 ○○○○

□町POPコンクール

町長賞 4年 ○○○○

教育長賞 2年 ○○○○

6年 ○○○○

□町発明・くふう展

町長賞 6年 ○○○○

教育長賞 2年 ○○○○

4年 ○○○○

5年 ○○○○

県発明協会長賞

5年 ○○○○



心の教育



本校では心の教育に重点を置いています。学校経営・運営ビジョンでは、「思いやり・感謝」「相互理解・寛容」について、道徳教育に力を入れることを今年度の目標としています。町内5校が1校になり、それぞれの地域で育った子どもたちがお互いを認め、理解しながら学校生活を送るためにこの目標は欠かせません。子どもたちはそれぞれに個性をもち、特性をもっています。自分と合う人もいればなんとなく合わない人もいます。そこで、先日の全校集会で校長がいじめについての話をしました。(一部を紹介します。) 5月には、いじめをテーマに全校道徳を行いました。後期に入り各学級で友達とのトラブルが多くなり、改めて友達との関係を見つめ直すきっかけになるように話をしました。これからも心の教育に力を入れていきます。

～前半は校長の体験より～

さて、みなさん、校長先生の1学期の始業式の話を読んでいますか。それは・・・「川俣小学校は1年生を含めると331人になります。みんなそれぞれ、得意なことや苦手なこと、性格や体つきなどが違います。お互いの違いを認め合うことがみんなで生活するためにはとても大切です。自分がされたら嫌なことは友達には絶対にしないことです。」

こんな話でした。

みなさんも、自分と気が合う人、好きな人、合わない人、苦手な人などと思う人、いろいろいると思います。当たり前のことです。だって、さっき言ったように一人一人がみんな違うのですから。

でも、みなさん、よく聞いてください。ここからが大事です。

人と合わないから、苦手だからといって、その人の悪口を言ったり、意地悪をしたり、友達にあの人嫌だよなんて言って広めたりすることは絶対にしてはいけません。それはいじめです。自分勝手な理由によるいじめです。

人によって思っていることや感じていることは違うのに、あの人は苦手という自分の思いを広めてはいけません。

～後半省略～

5年生 学習の発表会



配信してきました。

22日の5学年の学習の発表会では、環境について学んだことを劇仕立てで発表しました。また、最後に合唱を行い、美しい歌声が体育館に響いていました。

クラブ見学会



グループごとのダンス発表や室内ゲームレククラブによる双六遊びなど9のクラブが日頃の活動の様子を紹介しました。3年生は、各クラブへの関心が高まり、来年度入部する楽しみができたと思います。

3年生が来年度クラブ活動を選択する際に、4・5・6年生がクラブ活動の見学会を開催しました。ダンスクラブによる各